

# いわた羅針盤

ら しん ばん

2022年

9月号

9/1発行

No.87

令和4年6月定例会



特集

磐田の魅力・情報発信

## CONTENTS

- P 2 特集 磐田の魅力・情報発信
- P 4 6月定例会議案審議
- P 6 一般質問 (13人)
- P 13 トピックス
- P 15 インフォメーション
- P 16 審議結果 ほか

# 特集 磐田の魅力・情報発信

市議会では、「議会の見える化」として、議会だより「いわた羅針盤」の発行、映像配信による「議会報告会」、SNSを活用したお知らせなど、さまざまな方法で情報を発信しています。今回、磐田市の魅力を市内外にPRするために活躍している磐田市観光協会事務局長と2022 磐田市観光大使のお二人に、磐田市の魅力とその情報発信、磐田市議会の情報発信へのアドバイスなどについて伺いました。

(取材日：令和4年7月15日) (聞き手：市議会広報広聴委員会 小柳貴臣委員長、江塚学副委員長)



磐田市観光協会事務局長  
もりもり 美久さん



2022 磐田市観光大使  
たまき りょうた 玉木 良汰さん



2022 磐田市観光大使  
たにぐち ななみ 谷口 七海さん

観光大使募集はどのような方法で周知しましたか。

公共施設や市内のスーパーマーケットなどの人が集まる場所にポスターやチラシをお願いしたり、近隣の大学を回ったりしました。その他、自治会回覧、新聞への掲載、ラジオ、SNSなど、可能なものは、ほぼ取り組みました。

観光大使の性別要件を廃止した経緯と反響を教えてください。

観光大使の前身が「藤娘」や「プリンセスいわた」で女性限定でしたが、ジェンダーレスの時代になり、磐田の魅力や観光をPRするのに女性限定とする理由がないと思われ変更しました。変更により、活動領域の幅も広がることも、市民からの関心も高くなり、むしろ自然であると受け止められていると感じます。

観光大使に応募した理由と、大使としての感想を教えてください。

小学生の頃に、「国分寺まつりin遠江に参加し、観光大使の活躍を見て自分も大使になりたいと思いました。当時、応募資格が女性だけと知りショックを受けましたが、募集ポスターを見て、今年から男性も可能と知

り応募しました。イベント従事の際に「頑張ってるね、応援しているよ」と声を掛けていただき、地域の方の応援がとてもうれしかったです。

県外から磐田市に移住してきた海も山も川もあり気候もよく、なんて住みやすい街だろうと思いました。以前から地元の友人などに、「磐田っていいよ」とアピールしていました。偶然募集ポスターを見て、オフィシャルな観光大使として磐田の情報を発信できればと思い応募しました。観光大使になり、活動の様子が掲載されると、小さな記事でも「見たよ」と皆さんが教えてくれるので、磐田市民の情報に対する意識の高さに驚いています。



いわた大祭りの遠州大名行列に参加した様子

磐田の魅力は何だと思いませんか。

豊かな自然や歴史、文化が積み重ねられ、奥行きが感じられるエリアだと思います。海老芋やメロンなどの農業や、バイクなどの工業も盛んですし、サッカーやラグビー、卓球などのスポーツも活発で、それぞれの分野でお国自慢ができ、郷土として誇れるものをたくさん抱えていると感じます。

自然が豊かなところ、観光名所、特産品、スポーツのまち全国一位と魅力がたくさんあると思います。素晴らしいものは、あるだけでは伝わらないので、テレビ、ラジオ、新聞、広報、SNSなどを活用して発信していることも磐田の魅力だと感じます。

人がとても穏やかで温かく、誰に対しても優しい人が多いと感じています。居心地がよく、住みやすいところが磐田の魅力だと思います。

魅力を発信するためにやっていることや、やりたいことは何ですか。

魅力を伝えるため、まずは自身が発信し、楽しむことで多くの方に魅力を伝えていきたいと思っています。また、行政のイベントだけではなく、民間企業や市民の方を巻き込んだイベントにも参加し、磐田のことをもっと発信したいです。

観光大使としてイベントへ参加するだけでなく、プライベートでもイベントに行ったり、磐田市の勉強をしたりしています。これからは、市内の方だけでなく、市外の方にも磐田の魅力を伝えていきたいので、友好都市など市外での活動もしたいです。

観光協会としては、磐田の観光情報、イベントのPRは日常的に行っています。そのほかの取組として、「2022まるごと磐田検定」があります。昨年までは、「磐田歴史検定」でしたが、歴史の問題だけに限定しないことにより、磐田の魅力を包括的にPRできるのではと思われ変更しました。市内の方だけでなく、市外や県外の方からも多くの応募があるため、磐田のことをもっと知ってもらいたいです。

観光協会では、観光協会として、観光情報、イベントのPRは日常的に行っています。そのほかの取組として、「2022まるごと磐田検定」があります。昨年までは、「磐田歴史検定」でしたが、歴史の問題だけに限定しないことにより、磐田の魅力を包括的にPRできるのではと思われ変更しました。市内の方だけでなく、市外や県外の方からも多くの応募があるため、磐田のことをもっと知ってもらいたいです。



2022まるごと磐田検定パンフレット

観光協会で情報を発信する際に気を付けていることは何ですか。

紙媒体から電子媒体で発信することが主流になってきていますが、「ホー

「いわた羅針盤」を読んだ感想をお聞かせください。

写真や絵も多くて見やすく、特集の市民の方の発言も興味を持って読むことができると感じます。しかし、一般質問などは文字が多いと感じるので、多くの方に最後まで読んでもらうためには、SNSでの発信も有効なのではないかと思っています。

議会の内容だけでなく、市民の方が載っていて、好感が持てます。議会活動の紹介も見やすいと思いました。

議会報告という堅くなっている感じが、表紙に高校生の写真を使っていたり、色々な分野の方に市民目線で話を聞いていたりして、親近感を持たせる工夫をしていると感じます。

市議会の活動を、市民の方に知ってもらう方法は何かありますか。

議員の皆さんが、市民の中に入って活動する回数が増やすことや、活動範囲の枠を広げるなどして身近な存在に感じてもらうことによって、関心が深まると思います。

可能性はともかく、市内の商業施設などが集まる場所で議会を開けば、市議会を知らない人でも、そこで市議会を知ってもらえるのではないかと思います。

市議会は遠い存在であるとか、何が話し合われているか知らないといった苦手意識が根底にあると思うので、市議会イベントを開けば、私たちの声が反映されているということが若い方にもわかると思います。

磐田の魅力を発信している皆さんから、「I LOVE 磐田」の熱い思いが伝わってきました。たくさんの方に磐田のことを知ってもらいたいという気持ちは、市議会も同様です。今回の取材でいただいたアイデアやヒントを参考に、今後も「議会の見える化」に取り組んでいきたいと思っています。ご協力ありがとうございました。



いわた夏祭inジュピロードに参加した様子

撮影時のみマスクを外しています。

6月定例会の様子は、インターネットで録画配信しています。  
 磐田市議会 配信 検索

# 議案審議

会期 6月9日～7月7日(29日間)

令和4年  
6月  
定例会

## 一般会計補正予算(第3号)などを審議

6月定例会では、市長提出の4年度一般会計補正予算などの一般議案15件、人事議案1件を審議しました。なお、すべての議案の審議結果は最終ページに掲載しています。

議案  
第40号

### 4年度一般会計補正予算(第3号)

全会一致で  
可決

この補正予算は、歳入歳出予算の追加及び債務負担行為の追加であり、補正予算第2号の補正後の額に、歳入歳出予算それぞれに2億2309万円を追加し、総額を660億5791万8千円とするものです。

#### 補正予算の主な内容

- 豊岡支所書庫棟の改修に要する経費の増額
- 勤労者総合福祉センター「ワークピア磐田」の外壁改修に係る設計に要する経費の増額
- 新造形創造館・市民文化会館の臨時駐車場の整備に要する経費の増額
- 中小企業等のデジタル化や新規就農者の初期投資に対する補助金など、頑張る事業者の取組への支援に要する経費の増額
- デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用した小・中学校におけるデジタル化推進に要する経費の増額



豊岡支所

#### 本会議での主な質疑

- 問** 豊岡支所書庫棟改修の経緯と予定は。
- 答** 豊岡支所庁舎の耐震性能はランク2であり、倒壊する危険性は低いものの建物の一部に被害が発生すると想定されている。豊岡支所庁舎の整備の方向性を検討した結果、現在の敷地の南側にある書庫棟を改修し、支所として活用することで、利用者及び職員の安全性を向上させ、支所機能を維持していくことが最良であると判断した。既存施設の活用により、コスト削減と工期短縮を目指し、5年度末の工事完了を予定している。
- 問** 新造形創造館・市民文化会館の臨時駐車場整備の経緯は。
- 答** 新造形創造館駐車場の土地の所有者からの申出により、年度内に借地を返還することになった。返還を求められている駐車場は90台の駐車が可能で、新造形創造館のみならず、市民文化会館臨時駐車場としての活用も見込んでいたため、代わりとなる駐車の整備が必要になったものである。
- 問** 小・中学校におけるICT環境整備の内容と、授業の充実に向け目指す成果は。
- 答** 特別教室への大型モニター及び書画カメラを整備するほか、電子連絡システム等を整備する。授業の充実については、理科室で昆虫写真や児童生徒の観察記録を書画カメラで大型モニターに映し出し学級全体で視覚的に共有するなど、児童生徒の学びが深まることや、タブレット端末を活用して外国人児童生徒への学習支援を行うことで、個に応じた学びが促進される。
- 問** 電子連絡網システムの活用方法は。
- 答** 保護者からの欠席連絡、配布物の電子化等により、利便性の向上を図っていく。



議案  
第48号

### 市立総合病院の使用料及び手数料 条例の一部改正

全会一致で  
可決

4年度診療報酬改定において、外来医療の機能分化を促進するため紹介状がない患者に係る受診時定額負担制度の見直しがなされたことから、条例の一部を改正するものです。

#### 改正の主な内容

- 特定初診料を5500円から7700円に改正
- 特定再診料を2750円から3300円に改正

#### 本会議での主な質疑

**問** 特定初診料引上げによる外来機能の明確化と地域の医療機関連携への認識は。

**答** 前回の改定である平成30年9月の特定初診料の引上げにより、紹介状なしで当院を受診された方のうち、緊急性・重篤性が低く、特定初診料の対象となる患者の延べ数は、平成29年度5840件、30年度4965件、元年度3841件と減少した。また、診療所等からの紹介率が、平成29年度73%、30年度78.8%、元年度80.8%と増加したため、外来機能の明確化と、医療機関連携に一定の効果があったものと考えている。



磐田市立総合病院

**問** 特定初診料引上げにより、外来の受診抑制につながるのか。

**答** より身近なかかりつけ医を通じて、適切な受診先を決定するものがあり、受診自体を抑制するものではないと考えている。

※1 特定初診料：開業医等からの紹介状なしで地域医療支援病院等を受診した場合に徴収

※2 特定再診料：病床数200床未満の病院または診療所に対し、地域医療支援病院等から文書による紹介を行う旨の申出を行ったにもかかわらず地域医療支援病院等を受診した場合に徴収

議案  
第50号

### 4年度本庁舎空調設備改修工事 請負契約の締結

全会一致で  
可決

4年4月21日に5社による制限付き一般競争入札を行った結果、日管株式会社磐田支店と1億9118万円で工事請負契約を締結するものです。

#### 本会議での主な質疑

- 問** 改修工事には、配管などの更新も含まれるのか。
- 答** 今回の工事では、機器及び附帯する配管等についても更新を行う。
- 問** 空調が使用できない期間の工程の設定は。
- 答** 空調の設置等については、冷暖房を使用しない、3月から5月頃を予定しており、大きな影響はないと考えている。
- 問** 工事において、作業動線と来庁者の動線が重なる可能性はあるのか。また、重なった場合の安全対策は。
- 答** 本工事は主に、屋上と地下に設置された機器の更新となるため、直接市民に影響が出ることはないと考えているが、機器の搬入等で、来庁者と動線が重なる可能性がある場合は、休日や夜間に作業すること等により影響が出ないよう配慮していく。



磐田市役所本庁舎

#### 【工事概要】

##### ◆機械設備工事

- 吸収式温水発生器更新 1台
- エアハンドリングユニット更新 2台
- 冷却塔更新 1台

##### ◆電気設備工事

- 動力設備工事

#### 工期

議決の翌日～令和5年7月

# 自然環境への対応について／保健事業について



一括質問



市民と創る磐田 山下千賀子議員

## 自然環境への対応

**問** 現在の森林環境保全や整備についての現状認識と課題対応策を伺う。

**答** 森林所有者の山への関心が希薄化しており、まずは所有者の現状を確認できるよう林地台帳の更新を含め、森林の見える化を進めていく。

**問** 豊岡万瀬地区の無人ヘリコプター森林調査の結果と活用について伺う。

**答** 効率化に向け農林環境専門職大学や林業施業者が人力による調査との精度比較や省力化の検証を行った。今後、災害の危険性が高い箇所抽出や森林整備に必要となる作業道のルート選定への活用を研究するとともに、森林計画から施策までの新たなサイクルの確立を目指して公民連携で取り組んでいきたい。

## 保健事業

**問** 特定健診受診者増を目指して施策を考えているのか。

**答** 休日健診の拡充を図るとともに、個人事業主等への受診を呼びかけていく。



# 市政を問う

# 一般質問

要旨

## 一般質問とは？

個々の議員が、市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。6月定例会では、13人の議員が一般質問を行いました。発言した順番で主な内容をお知らせします。

一般質問は内容を要約して掲載しています。詳しくは、インターネットの録画映像をご覧ください。

磐田市議会 配信

検索

# 子どもたちの生命と人権を守るための性暴力対策について



一括質問



市民と創る磐田 鈴木弥栄子議員

**問** 教職員による児童生徒への性暴力防止のための環境整備について伺う。

**答** 職員は児童生徒と一対一にならない、個人的にSNSで連絡を取らない等、指導し環境づくりに配慮している。

**問** 児童生徒が性暴力やセクハラを受けたときに相談する場所の周知や端末を利用したアンケート、相談への見解は。

**答** 相談場所の周知は行っていませんが、相談機関を紹介していきたい。また、定期的にアンケートを実施し、悩みを発信できる機会を設けている。端末の活用も積極的に行っていきます。

**問** 被害児童生徒に対し、義務教育終了や市外転出等に関わらず、必要な支援を継続して受ける機会を保障することが必要では。

**答** 義務教育終了後はごども・若者相談センターが、窓口となり、医療機関や県等と協力し対応する。転出者は転出先と協力しながら、できる限り対応に努めます。

**問** 子どもたちを性暴力の被害者、加害者、傍観者にしたために家庭や幼・保・こども園において性教育に取り組みることが大切では。



**答** 保護者へは、様々な機会を通して性教育の啓発に努めていきたい。幼・保・こども園では、自尊感情を育てる保育を継続していきたい。

**問** 交流センター等での啓発展示や講演会を行い、性暴力等に関する市民の意識啓発を図ることの見解は。

**答** 今後、交流センターでの巡回展示を計画している。講演会は、市民団体から提案があれば、「ここからラボ」という事業もあるので、協力しながら、みんなで学んで気付ける場をつくっていきたい。

# 特別史跡遠江国分寺跡について／障がい者就業支援について／地域の諸課題について



一括質問



志政会 小柳貴臣議員

## 特別史跡遠江国分寺跡

**問** 国分寺跡を活用した、まちのにぎわいづくりを伺う。

**答** 史跡整備により、新たな国分寺の魅力発信できるこの機会を捉え、従来の国分寺まつりへの支援に加え、より人が集まる仕掛けを検討し、地域や市民グループ、観光協会等とも連携しながら、にぎわいにつなげていきたい。また、国分寺跡へ訪れた方を市内の史跡や観光スポットへ回遊させる方法も検討していく。



特別史跡遠江国分寺跡 (令和3年11月現在)

## 障がい者就業支援

**問** 障がい者就業支援の方向性について伺う。

**答** 雇用先の障がい者就業への理解促進や、障がい者に寄り添い、適性に合った雇用先

## 地域の諸課題

**問** 公会堂等を避難所として開設することについて伺う。

**答** 災害対策の情報を的確に市民に伝え、命を守ることを最優先に、ちゅうちょなく避難できるよう、迅速に避難場所を開設するとともに、マイ・タイムラインの普及啓発に努めるなど、適切な避難行動を周知していく。台風接近の際、公会堂に避難者を受け入れている自主防災会の取組を紹介することで、地域の自主的な取組を広げていきたい。

## スポーツと健康づくり／今後の中学校部活動の在り方／放課後児童クラブについて



一問  
一答

志政会 鳥居節夫 議員



### 今後の部活動の在り方

**問** 現時点での地域部活動移行に関する課題を伺う。

**答** 指導者と財源の確保が最大の課題である。財源については、指導者に対する報酬の支払いと経済的に困窮する家庭への支援が必要であり、市の予算確保のほか、民間企業へ協力依頼し、各家庭に対して受益者負担の考え方を丁寧に説明していく必要がある。

**問** 人材バンク・財源確保も含めた中核となる機関設立への考えを伺う。

**答** 地域移行の諸問題に対応するため新たな組織の立ち上げを研究している。官民を問わず市全体で子どもたちをサポートする体制を構築したい。

### 放課後児童クラブ

**問** 支援員・補助員は重要なエッセンシャルワーカーと考えるが、見解を伺う。

**答** 児童クラブが閉鎖した場合、保護者に多大な負担を強いることが予想されるため、その職務は重要な役割を担っていると考えている。



## 磐田市の道路基盤について



一問  
一答

せいわ会 小栗宏之 議員



### 道路の維持管理

**問** 市による積極的な道路維持の巡回点検、状況確認の実施状況を伺う。

**答** 職員によるパトロールを2名体制で年間160回以上実施し、道路管理瑕疵が可能な限り減少するよう取り組んでいる。今後は、LINEやウェブによる通報システムの活用の可能性を検討し、早期に導入していきたい。

**問** 市内の国道・県道と市道が交差している地点での不具合箇所の維持管理・整備における国や県との連携を伺う。

**答** 道路管理者である国や県が実施することとなるため、迅速に国や県に報告し、修繕を依頼している。緊急性がある場合は、市が初期対応としてバリケードを設置している。

**問** 現状、市内の道路維持管理の予算等及び対応職員数は充足しているか見解を伺う。

**答** 現時点では予算や人員は確保できている。今後、施設の老朽化がさらに進むので、国費等の補助金を含め必要な財源を確保していく。

### 自転車走行空間

**問** 安全な自転車走行空間を整備・確保する予定・計画は。今後、国道・県道を含め道路の改築等を実施する際には、自転車専用レーンの必要性や整備手法などを関係機関や地域の方の意見を聞きながら、働きかけをしていく。



**問** 既存の市道に「矢羽根型路面標示」等の路面標示の整備を進めることへの見解を伺う。

**答** 矢羽根等の路面標示は道路管理者が設置できるが、道路幅員構成等による設置の可能性の有無や設置による車両等の接触事故も危惧されることから、今後は国、県、公安委員会等の意見を聞きながら調査研究していく。

## 一人一人に寄り添った「心のケア」について／安心して過ごせる子どもの居場所について／みんなに届く情報発信



一問  
一答

志政会 芦川和美 議員



### 心のケア

**問** 「グリーフケア」の提供、専門機関との連携を伺う。

**答** 相談日を毎月2回程度設けていく。また、グリーフケア認定士がいる医療機関等の現状を把握し、県と連携して支援策を検討していく。



### 子どもの居場所

**問** 様々な困難に直面している小・中学生の生活環境の把握と対応を伺う。

**答** 学校の担任が子どもの目を見て対話することで、子どもの理解に努めている。把握した実態に応じて必要な支援を協議し、外部機関とも連携して子どもに寄り添い、伸びていく方向を支援している。

**問** 日本財団「子ども第三の居場所プロジェクト」活用に向けての調査、検討を伺う。

**答** 子どもの居場所づくりは重要であると認識しており、様々な可能性を模索しながら、調査、検討していきたい。

**みんなに届く情報発信**

**問** デジタルサポーター人材育成支援制度等の確立について見解を伺う。

**答** デジタルサポーターは、地域の身近な相談役として有効と考えている。国、県の制度を活用し、多くのサポーターを育成するため関係団体などへ周知をしていく。

**問** SNSを活用した外国人への情報発信の課題と対応策を伺う。

**答** フェイスブックで発信している言語数が少ないことが課題である。対応策はベトナム語とやさしい日本語の追加を4年10月頃予定し、いわたホッとラインなどの外国語版配信も充実させていく。

**問** LINEリッチメニューの導入について伺う。

**答** 利用可能なサービスは随時導入を検討していきたい。

## 防災／まちづくりと地域コミュニティ／人づくり及び人材活用



一問  
一答

新磐田 松野正比呂 議員



### 防災

**問** マイ・タイムライン講座活用の考え方と実施計画及び自助を促す取組の全体像を伺う。

**答** 講座は河川の氾濫を想定したものに、4年度から課題であった土砂災害の内容を取り入れ、地域づくり協議会単位で開催を計画する等、普及啓発に努める。講座を通して自助の意識を高めていきたい。

**問** 災害を未然に防ぐための森林管理の方針を伺う。

**答** 4年度に所有者情報を把握するため林地台帳の更新を行う。無人ヘリコプターによる森林計測等の新たな技術に農林環境専門職大学等の知見を加え、効果的かつ効果的に森林整備ができる仕組みづくりを公民連携で研究したい。



### まちづくりと地域コミュニティ

**問** 地域コミュニティの必要性の啓発を伺う。

**答** 4年度は市民ワークショップを開催し、これからの地域活動や市民活動の在り方を検討したい。市民に地域コミュニティの必要性や在り方を、我が事として理解していただくよう啓発をしていく。

**問** スポーツのまちづくりのプラットフォーム戦略推進についての見解を伺う。

**答** プロスポーツチームや大学などと連携し、枠組みづくりを進め、本市の目指すスポーツのまちづくりの趣旨に賛同する団体や企業、市民が幅広く参加するものとしていく。

### 人づくり及び人材活用

**問** 相談対応を課題解決や政策立案につなげる仕組みは。

**答** 庁内外の組織で構成するケース会議を開催するなど、解決手法を模索し、きめ細やかな対応を行っている。また、部局をまたいだ情報共有をさらに促進していきたい。

公共工事等における入札・契約方式の諸課題／平和教育、子ども施策の充実を／ケアラー支援条例の制定を



問  
答

日本共産党磐田市議団 高梨俊弘 議員



**問** 日本国憲法前文にある全世界の国民が等しく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを改めて確認することは重要であるか。

**答** 重要だと考える。見解は、

**問** 平和教育において日本国憲法の「平和のうちに生存する権利」などを教えることが重要だと考える。見解は、

**問** ロシアによるウクライナへの軍事侵攻について児童・生徒の受け止めは、

**答** 多くの人が亡くなり、建物が破壊されていることに對し、怖い、悲しい、早く平和な世界になってほしいという声があった。中学生では生徒会を中心にウクライナの支援活動に取り組む学校もあった。

**問** 公共工事等における入札・契約方式の諸課題

**問** ケアラー支援条例を制定すべきと考える。見解は、

**答** 現在も各相談機関で連携を図りながら介護・看護する方にも寄り添った支援を行っている。現時点で支援条例を制定することは考えていない。

**問** ケアラー支援条例を制定すべきと考える。見解は、

**答** 当該法案の趣旨に鑑み、必要に応じて児童等関係者への意向調査を実施するなど、施策に子ども等の意見を反映させていきたい。



る。日々の授業や学校生活の中で、平和教育を継続して指導していきたい。

農業について／教育について



問  
答

志政会 永田隆幸 議員



**問** 農業経営の収入保険についての助成・支援は、

**答** 加入者は少しずつ増えてきている。現時点では加入時の保険料を支援するまでの考えはないが、農業共済組合などの関係機関と協力し、加入促進の周知に努めていく。

**問** 建設検討会の今後の検討課題は、

**答** スクールバスを運行して遠距離通学の負担軽減を図るが、今後、乗降場を地域と協議していく。また、駐車場が足りないという意見もあるので、今後検討していく。

**問** 国に対する肥料の安定供給の働きかけについて伺う。

**答** 本市のみの課題ではなく、農業者を抱えている市町は同じ課題を抱えており、首長間で共有して訴えていく。

**問** 向陽学府について、地域連携室と（仮称）福祉交流支援室との連携・進め方は、

**答** 基本的には地域連携室へコミュニケーションスクールディレクターまたはコーディネーターが入り地域との連携を作る。福祉交流支援室は、子どもとお年寄りが交流する場を想定している。

**問** 市役所や市立総合病院等の公共建築物に附帯する駐車場の数は、利用者数や地形、施設の用途などから想定して算定しており、今之浦公園は、国の基準を基に算定している。駐車場の改修や増設は、状況に応じて対応していきたい。

**問** 市街化調整区域だけでなく、市街化区域も空洞化、高齢化が進んでいる。市の限界集落化への考え方と対応策は、

**答** 本市の限界集落化を防ぐためには、総合計画後期基本計画にある人口目標の達成を目指し、若い世代の転入促進・転出抑制などの施策をはじめ、総合計画に掲げた諸施策に取り組みしていくことが重要であると考える。

第3次磐田市男女共同参画プランの実効性と諸課題について



問  
答

日本共産党磐田市議団 根津康広 議員



**問** ジェンダー平等と男女共同参画は、かなりかけ離れている印象を受けるが認識は。また、男女共同参画プランではジェンダー平等の推進が全てに網羅されているか。

**答** ジェンダー平等は男女共同参画プランに掲げるとの施策を進める上でも重要な要素と認識している。男女共同参画とジェンダー平等は同じ位置づけで、全てを含めプランに網羅している。

**問** 男女の賃金格差の是正に向けた取組を国に働きかけ、市内事業者に男女の賃金格差を見える化し、格差是正に向けた取組を促すことが重要と考える。見解は、

**答** 男女の賃金格差の公表義務化に向けて法改正が予定されている。国や県の動向に注視し、商工団体をはじめ関係機関との連携や制度の周知に努めていきたい。

**問** コロナ禍で困難を抱えた女性たちの相談等を担う相談員の身分と体制、実績は、

**答** 女性相談員として会計年度任用職員1名とサポートする正規職員1名を配置し、面

**問** ジェンダー平等、男女共同参画の課題は多岐にわたり、各分野が横断的に関わって計画に盛り込むべき内容も豊富である。課または室を設置し、体制と予算配分を強めるべきと考える。見解は、

**答** 組織横断的な連携が必要と認識しているため、5年度に向けて組織体制の見直しを進めていきたい。



談や電話による相談対応をしている。3年度は延べ相談対応件数が981件と2年度より約100件増加している。相談件数が増加傾向にあることや内容が複雑になっていることから、今後相談員の体制を強化する必要がある。

市長の政治姿勢について／市の諸課題について



問  
答

磐田の底力 柏木健 議員



**問** 自主運行バスの検証と評価及び今後の他地域での導入について伺う。

**答** 5月までの実績は延べ利用者4210人で、利用者の多い朝の便では平均19人が乗車しており、運行目的である通勤通学の支援ができていますと考える。他地域での導入は、現在策定を進めている地域公共交通計画の中で方針を示していきたい。

**問** 市街化調整区域だけでなく、市街化区域も空洞化、高齢化が進んでいる。市の限界集落化への考え方と対応策は、

**答** 本市の限界集落化を防ぐためには、総合計画後期基本計画にある人口目標の達成を目指し、若い世代の転入促進・転出抑制などの施策をはじめ、総合計画に掲げた諸施策に取り組みしていくことが重要であると考える。

**問** 人口減少に対応するため1人でも多くの方に移住していただきたい。市では、首都圏からの移住者への支援金支給事業や大学卒業後のUターン就職者への奨学金返済支援事業のほか、移住希望者へのPRや相談対応を行っている。今後も、県や近隣市町と連携し、本市の魅力発信を行うことで移住を促進していきたい。

**問** 公共施設の駐車場台数の算定方法は、

**答** 市役所や市立総合病院等の公共建築物に附帯する駐車場の数は、利用者数や地形、施設の用途などから想定して算定しており、今之浦公園は、国の基準を基に算定している。駐車場の改修や増設は、状況に応じて対応していきたい。



**問** 建設検討会の今後の検討課題は、

**答** スクールバスを運行して遠距離通学の負担軽減を図るが、今後、乗降場を地域と協議していく。また、駐車場が足りないという意見もあるので、今後検討していく。



一括質問

### 子育て支援について / ICT活用について / 市の諸施策について

公明党磐田 江塚 学 議員

#### 子育て支援

**問** 使用済み紙おむつを園で回収する考えは。

**答** 紙おむつの持ち帰りは不衛生で、保護者や保育士の負担となっている。負担軽減、感染症予防の観点からも園で回収する方向で検討していく。



**問** 保育士の負担軽減等が図られる「業務支援システム」導入の進捗状況は。

**答** プロジェクトチームを立ち上げ、現状や課題の把握を進めている。システム選定を4年7月に行い、10月から本格運用を開始する予定である。

#### ICT活用

**問** スマートフォン向け障がい者アプリ「ミライロード」導入の考えは。

**答** 障がいのある方の社会参加しやすい環境を整備するため、市内施設へ導入を働きかけていきたい。

**問** LINE公式アカウントを活用した道路不具合等の通報システム導入の考えは。

**答** LINEやウェブによる通報システムを比較検討し、早期に導入していきたい。

**問** 市内の貴重な文化財を自宅で鑑賞できるデジタルミュージアム開設の考えは。

**答** ドローンでの文化財撮影や、市ホームページへのパナールの設置などは研究していきたい。今後デジタルコンテンツを充実させていきたい。

#### 市の諸施策

**問** 骨髄移植ドナー支援事業について、職場理解や事業所の経済的負担を軽減する助成拡充の考えは。

**答** 骨髄移植の推進にはドナー登録者の増加と合わせ、骨髄提供のためのドナーの休職に対する勤務先の理解も重要と考えている。ドナーへの助成に加え、事業所への支援拡充についても検討していく。



一問一答

### 業務のリスク管理について / 空き家対策について / 友好都市について

せいわ会 平田 直巳 議員

#### 業務のリスク管理

**問** 他の自治体での給付金振込ミスの問題を受けて、見直しや再度徹底を促したか伺う。

**答** 会計処理等の業務は、これまで複数名で行った上で上司の決裁を受けることにより、ミスを起こさない仕組みづくりに取り組んでいる。本市でも誤りが発生しないよう、処理方法を再度確認している。

**問** 業務上のミスが発生した場合のリカバリーの対応は。

**答** 基本的な対応マニュアルがあり、それぞれの事象に当てはめ対応できるようにしている。第一段階としては、市民の生命、財産、拡大防止に対応している。

#### 空き家対策

**問** 空き家対策への成年後見制度の活用の実態と課題は。

**答** 地域包括支援センターでは、高齢者の財産の管理に関する相談にも対応しており、成年後見制度の活用支援等も行ってきている。成年後見は制度が複雑であるため、対応が難しい事案については、本年度

〔仮称〕成年後見支援センターを開設し、相談する機会を定期的に設ける予定である。

**問** 税制面や政策面での空き家対策の考えは。

**答** 空き家除却事業費補助金や固定資産税等の減免制度により、一定の効果が得られている。これにプラスしていい制度をつくるのができれば対応していきたい。



#### 友好都市

**問** 事務事業の中での友好都市の位置づけを明確にするため、条例を制定する考えは。

**答** 友好都市の締結は、玉野市を除き合併前の旧市町で行われており、締結の経緯を尊重し、現状の交流を継続していくが、条例の制定については、現時点では考えていない。



#### ※1 マイ・タイムライン (P7・8)

台風や大雨の水害等、これから起こるかもしれない災害に対し、一人一人の家族構成や地域環境に合わせて、あらかじめ時系列で整理した自分自身の避難行動計画のことです。自ら考え命を守る避難行動のための一助とするものです。

#### ※2 グリーフケア (P8)

死別により、喪失と立ち直りの思いとの間で揺れ動き、不安定な状態となると同時に、身体上にも不愉快な反応・違和感を体験することを「グリーフ」といい、このような状態にある人に、さりげなく寄り添い、援助することです。

#### ※3 限界集落 (P10)

過疎化や少子高齢化が進み、人口の50%以上が65歳以上となった集落のことで、農作業や生活道路の管理、冠婚葬祭など、共同体の機能を維持することが限界に近付きつつある集落のことです。

## Topics

### 6/1 7/26 民生教育委員会オンライン視察 ~掛川市・兵庫県加西市~

民生教育委員会では、高齢社会における介護・医療費の抑制策について調査・研究するため、掛川市及び兵庫県加西市へオンラインによる行政視察を行いました。掛川市へのオンライン視察では、「掛川市健康医療基本条例」を制定した経緯について、兵庫県加西市へのオンライン視察では、「加西市歩くまちづくり条例」を制定した経緯などについて質疑応答や意見交換を行いました。



### 7/21 7/27 総務委員会オンライン視察 ~島根県雲南市・富山県南砺市~

総務委員会では、地域コミュニティについて調査・研究するため、島根県雲南市及び富山県南砺市へオンラインによる行政視察を行いました。オンライン視察では、小規模多機能自治の現状と課題、市民、議会、行政の理念等の共有策、人材（後継者）の育成と持続性を担保する仕組みなどについて質疑応答を行いました。



請願・陳情とは

市政などについて、直接、議会に要望できる制度として「請願」「陳情」があります。これらは磐田市民に限らず、どなたでも提出することができます。

【請願】

地方自治法及び市議会会議規則に定められており、磐田市議会議員の紹介が必要です。

【陳情】

磐田市議会議員の紹介は不要です。

【審査等】

所管する委員会に付託され、その内容を慎重に審査した後、本会議（陳情は全員協議会）に報告され採択・不採択が決定されます。郵便による陳情は議長預かりとなります。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。



【請願・陳情の書き方】

磐田市議会議員	年月日
請願（陳情）者 住所 氏名 ※署名又は記名押印	
紹介議員（陳情は必要なし） 氏名 ※署名又は記名押印	
〇〇〇〇〇に関する請願（陳情）	
趣旨 (請願・陳情する事項を簡単に記入)	
理由 (請願・陳情する事項とその理由を詳細に記入)	

政務活動費の適正な使用・透明性の確保に努めています

会派は、議員の調査研究、その他の活動に役立てるための必要な経費の一部として、政務活動費の交付を受けることができます。

政務活動費の適正な使用及び透明性の確保のため、会派は経理責任者を設置し、年度終了時に議長あてに収支報告書・金銭出納簿・領収書等を提出しています。

また、議会事務局においても、すべての提出書類の内容を確認しています。

なお、会派別の収入支出状況・領収書の写し等は市議会ホームページで公開しています。



スマートフォン等からも  
議会を視聴できます

パソコンのほか、スマートフォンやタブレット端末からも、本会議、予算決算委員会の模様を視聴することができます。生中継・録画中継を配信しておりますのでぜひご覧ください。



クリック

磐田市議会 インターネット中継

検索

議会にご意見をお寄せください

市民の皆様のお声をお聞きするため、「ご意見ポスト」を本庁舎1階と5階に設置しています。市議会へのご意見・ご要望をお寄せください。



左のコードを読み込み、ご意見を入力できます。



7/1 市議会初の避難訓練を実施しました

市議会では、3年10月7日に策定した「磐田市議会業務継続計画（議会BCP）」の内容を検証・点検するため、本会議開催中の南海トラフ巨大地震発生を想定した避難訓練を行いました。

訓練では、震度7の訓練地震発生と同時に議席下に潜り込み、頭部を守る体勢を維持し、揺れが収まったところで議席備え付けのヘルメットをかぶり、出入口から速やかに避難しました。

寺田幹根議長は講評で、「実際には避難ルートに障害物が落ちている可能性もあるので、まずは身の安全を守りながら、職務を遂行できるよう、避難の手順をしっかりと頭に入れてほしい。」と全議員に呼びかけました。



7/28 民生教育委員会で講演会を開催しました

民生教育委員会では、高齢社会における介護・医療費の抑制策について調査・研究するため、浜松医科大学地域医療支援学講座の竹内浩視特任教授を講師に招き、「磐田市を含む中東遠地域の地域医療の現状、課題と取組」をテーマに講演会を行いました。

講演会には、民生教育委員会委員、市と市立総合病院の職員が参加し、中東遠地域の地域医療の現状や課題などについて理解を深めました。



# 審議結果

## ■全会一致により可決・同意された議案

- (1) 4年度一般会計補正予算（第2号）
- (2) // 一般会計補正予算（第3号）
- (3) // 病院事業会計補正予算（第1号）
- (4) 手数料条例の一部改正
- (5) 市税条例等の一部改正
- (6) 竜洋体育センター条例の一部改正
- (7) 体育施設に関する条例の一部改正の一部改正
- (8) 介護保険条例の一部改正の一部改正
- (9) 消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- (10) 市立総合病院の使用料及び手数料条例の一部改正

- (11) 太田川原野谷川治水水防組合の解散
- (12) 4年度本庁舎空調設備改修工事請負契約の締結
- (13)~(15) 財産の取得
- (16) 教育長任命の同意

## ■本会議で行われた選挙

- (1) 静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙

## ■その他本会議で議題となった案件

- (1) 市議会議員の派遣

## 9月定例会の予定

(9月7日～10月12日)

日	月	火	水	木	金	土
9/4	5	6	7	8	9	10
			本会議 (先議ほか)	本会議 (議案上程)		
11	12	13	14	15	16	17
				本会議 (先議採決・ 一般質問)	本会議 (一般質問)	
18	19	20	21	22	23	24
		本会議 (一般質問)	本会議 (議案質疑)	本会議 (議案質疑) 予算決算委員会		
25	26	27	28	29	30	10/1
	予算決算委員会分科会(審査) 常任委員会(審査)					
2	3	4	5	6	7	8
			予算決算委員会 (採決)			
9	10	11	12	13	14	15
			本会議 (採決)			

※いずれも午前10時から

日程は変更する場合があります。一般質問を行う議員の順番や内容につきまして9月14日(水)にホームページ上で公開を予定しております。また、聴覚障がい者の皆さまの議会傍聴のため、手話通訳者や要約筆記者の手配等を行っています。ご希望の方は、事前に議会事務局(電話0538-37-4822、ファックス0538-37-4845)までお問い合わせください。

## 表紙の写真

静岡県立磐田西高等学校 3年生

むらい あやね  
村井 彩音 さん

「磐田から甲子園」という目標を掲げた磐田西高校野球部。

3年生最後の夏。副キャプテンの大村は、試合では3番打者でセンターを守り、固い守備と誰よりも大きな声かけでチーム全体を支えている。

磐田にも、応援したい君がいる。



新型コロナウイルスが感染収束と再拡大を繰り返す中、各委員会ではそれぞれの所管にかかわる政策研究のための、先進自治体へのオンライン会議による視察研修が始まっています。現地訪問に比べ不自由は多いですが、自粛が続いたこの間の空白を埋めるべく、市民生活が直面する新たな課題にしっかり目を向け、耳を傾けていきたいと思います。

(八木義弘)

## 【広報広聴委員会】

- 委員長：小柳貴臣 ■副委員長：江塚 学  
■委員：本間昭男、八木義弘、芥川栄人、虫生時彦、根津康広

次回は12月1日発行予定です。